

会員アンケートの報告

穂坂 衛*

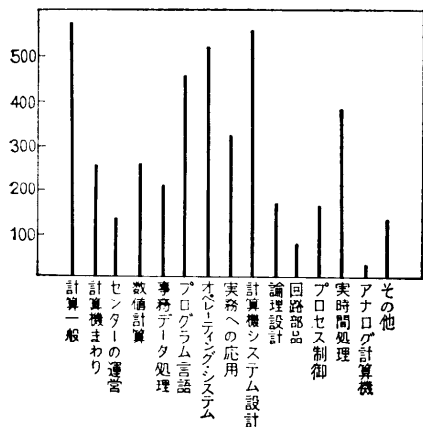
1964年末に一度アンケートを行なったが、それから4年経過し、その間に会員数も2倍近くになり、新会員も増加した。そこで、会員全員のご意見を本会の運営、とくに、本会誌の編集方針に反映したいと考えて、再度アンケートを行なった。

アンケートの発送時点での会員数2,710名に対して、回答があったのは1,368名で、回答率は50%であった。回収率は非常に良いとはいえないにしても、この種の調査としてはかなり良好で、会員の意見を代表するものであると考える。

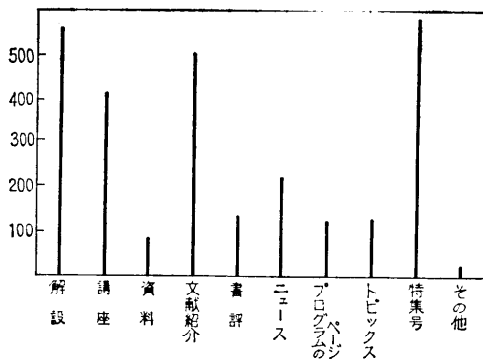
調査結果

第1表に会員の年齢構成、第2表に計算機の経験年

第1表		第2表	
明治	30	5年未満	415
大正	197	5~10年	576
昭和 1~10	379	10~15年	227
" 11~20	656	15年以上	45
" 20~	67	不明	105
計	1368	計	1368



第1図 関心分野



第2図 編集強化すべき項目

数の分布で、ごく常識的な結果である。

第1図に関心分野、第2図に編集強化すべき項目を棒グラフで表わした。

これらの結果から早急な結論はさしひかえるとしても、次のようにいえるであろう。

- (1) 計算機は総合技術であるから、関心分野を明確にすることは困難な面もあるが、3分野ほど選ぶ方法をとったので、かなり適確に関心分野がつかめる。計算機一般を除けば、計算機システムの設計、オペレーティング・システム、プログラム言語の3分野に関心が多く、これは会員の層が計算機メーカーに多いことから当然であるが、しかし、学会の性格から純粹のハードウェアには関心が低い。従来から編集委員の間で討論されていたが、数値計算への関心の度合に比して、掲載論文数が多いことである。今回の調査でも、この傾向がはっきりしたので、今後の編集方針に反映させたい。また、上位関心分野に関する論文の投稿を会員に呼びかけたい。
- (2) 関心分野の分類が必ずしも適当でなかったため、その他の分野を明示された方も多い。このうち、パターン認識 (14)、端末周辺装置 (10)、データ通信、シミュレーション各7で総数は少ないが、元来の項目になかったものであるから、相当ウェイトをおいてみたい。

* 43年度編集担当常務理事

(3) 会員の層もかなり広がったため、解説や特集号に対する要求が多かった。編集委員会でもすでに特集号を年1回と限らず、随時計画する予定で企画をたてるとともに、中級講座の欄を新たに設けた。

(4) 刊行期間について

現行でよい720、月刊誌にする528、無回答120で、一方、論文誌の発行を希望する会員は469で

あった。

(5) その他の意見はかなり分散しておりまとまらないが、評論、機種種の紹介、実務や応用例の紹介などの要望があった。これらは解説欄、資料、講座を強化することで要望に答えたいと考える。以上、ごく簡単にアンケートの集計結果について報告した。これらのご意見は理事会、編集委員会で十分討論し、今後の活動指針としたい。

雑 報

○アメリカのスミソニアン博物館より、コボル日本語版を欲しい旨の依頼があったので学会から一部寄贈した。

○生物物理学講習会

来る8月20日から23日まで、日本物理学会〔電話 東京 (03)-434-2671〕が主催いたしますが、本学会も協賛いたしますので会員特典がうけられます。物理学会へ直接お申し込みください。

COBOL 1965年版 発売中

—1968年1月までの変更と改訂を完全に含み
1968年7月までの変更と改訂をも明示する—
B5判 450ページ 定価 3,000円 (送料共)

コードの手引き 発売中

—データ・コードの標準化と編成—

(社)情報処理学会 編著
データ・コード委員会

A5判 152ページ、定価 700円 (送料共)

銀行振込の場合は、別便にて下記へハガキでお申し込みください。

振込 第一銀行、住友銀行、三菱銀行各虎の門支店
振替口座 東京 83484

発行 (社)情報処理学会

東京都港区芝公園21号地1番5号
機械振興会館内 電話 431-2808